

研究種目：研究種目：基盤研究（c）

研究期間：2007年度～2010年度

課題番号：19520204

研究課題名（和文） 近代同性愛アイデンティティの成立とワイルド裁判の歴史的位相

研究課題名（英文） The Construction of modern homosexual identity and the historical dimension of the Wilde trial

研究代表者 宮崎 かすみ

(Kasumi MIYAZAKI)

研究者番号：10255200

研究代表者の専門分野：英文学

科研費の分科・細目：英米文学

キーワード：オスカー・ワイルド、同性愛、

アイデンティティ、ソドミー、性科学

1. 研究計画の概要

1) ソドミーからホモセクシュアルといった概念の変遷が裁判記録によって検証できるか。

2) 同じことがワイルド裁判を報道するジャーナリズムの言説において検証できるか。

3) 性科学の言説によって、いかにして同性愛という近代的概念が、ソドミーとは別個に構築されていったかを論証する。さらにそれが、ワイルド裁判において定着して広まったという説を検証する。

4) デージェネレーション説と人種論の交錯をワイルドを通してアイルランド、夏目漱石を通して日本において明らかにする。

2. 研究の進捗状況

オスカー・ワイルドの同性愛の問題については、ウォルター・ペイターを含めて、最初の2年間に3本の論文として発表して、かなりのところまで明らかにしている。

これらにおいて以下の点を明らかにした。

1. ペイターの思想の本質が、ギリシャ思想と同性愛の美学からなっていることを明らかにした。とりわけ永続性に対する瞬間性を重んじるという美学が、プラトニズムを契機として、同性愛賛美の思想とひそかに結び付けられていることを解明した。

2. ワイルドに対する裁判と、それに引き続く同性愛嫌悪をめぐる当時の感情について、性科学の側面から切り込んだ。イギリスに固有のホモフォビアと、クラフト・エビングをはじめとする大陸の先進的な性科学研究と

の関連を解明し、英文学からしか論じられていなかったワイルドと同性愛の問題について、この議論の背景を大きく広げた。

3. さらに2009年度においては、近代日本において、性および身体規範（リスペクタビリティ）が西欧からどのように取り込まれたかについて明らかにし、その深甚な影響を漱石文学の中に読み込んだ単著『百年後に漱石を読む』を刊行し、大きな成果を上げた。この著作において、上記のような西欧のリスペクタビリティが取り込まれるにあたって、男色の問題系と家父長制を支える男性性のテーマがいかに近代日本人の心性に内面化したかを掘り下げて、研究はかなりの程度まで達成されている。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に推移している。

【理由】オスカー・ワイルドとマスキュリティあるいは同性愛の問題に関わる著作を3冊も刊行して、当該研究の成果を既に広く社会に向けて発信しているほか、イギリスの学会でもワイルドや同性愛の問題系が近代日本、とりわけ夏目漱石に与えた大きな影響について発表してこのテーマについて初めて海外に紹介した。これが大きな反響を呼び、学会記念論文集の中にも収録されることになっている。

4. 今後の研究の推進方策

現在は当該研究の成果を盛り込んだワイルドの評伝を中公新書から刊行するべく鋭意準備中の段階である。

とりわけ、イギリスなどにおいて同性愛史が盛んに書き換えられている最新の学問成果を取りこみ、当時の同性愛をめぐる歴史的状況からワイルドという人物に焦点を当てる新しいアプローチを試みている。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

宮崎かすみ 「ペルセポネと透明性の美学」『ペイター論集』(査読あり)2007年、33-47.

宮崎かすみ 「赤い椿と吸血鬼—スパーマティック・エコノミーから読む『それから』」『横浜国立大学教育人間科学部紀要Ⅱ』[査読なし] No.9,2008年、34—44.

宮崎かすみ 「変質論とダーウィニズム—『ジェイン・エア』から『ドラキュラ』へ、「内なる他者」表象の変遷—」『英語青年』(査読なし) 154巻、2008年、562—565.

宮崎かすみ 「Masculinity and Male Homosexuality in Britain 1861-1919」(書評)『ジェンダー史学』[査読なし]第3号(日本ジェンダー史学会)、2007年10月、124—129.

宮崎かすみ 「『宝島』におけるマスキュリニティの抗争—抑圧された女性性の表象としてのシルバー船長」『中部英文学』[査読なし]第27号、2008年3月、31—35.

[学会発表] (計3件)

宮崎かすみ 「海賊は女だった?—『宝島』:マスキュリニティの構築と他者の排除の物語」日本英文学会中部支部、年次大会シンポジウム、2007年10月8日、愛知淑徳大学。

宮崎かすみ 「『心』と聖書—「贖罪の血」と男性間エロスの継承の神話」日本英文学会北海道支部 第53回大会、2008年10月15日、北海道大学。

MIYAZAKI, Kasumi, “Praising Samurai-Masculinity by way of the Biblical Language: The Influence of Christianity and Oscar Wilde on Soseki Natsume’s *Kokoro*”, “WHAT IS MASCULINITY? HOW USEFUL IS IT AS A HISTORICAL CATEGORY?”, 2008.5.13, Birkbeck College, University of London.

[図書] (計3件)

宮崎かすみ 『百年後に漱石を読む』トランスビュー、2009年、367ページ。

宮崎かすみ編『差異を生きる—アイデンティティの境界を問いなおす』明石書店、2009年、231ページ。

宮崎かすみ『身体とアイデンティティ・トラブル』(金井淑子編)明石書店、2008年、321

ページ。

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]